

## 辺土名小学校道徳推進教師モデル授業

### 【指導内容項目】

#### 1. [主として自分自身に関すること]

(1) 過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する。

### 【資料名】

「 まどガラスと魚 」 奈 街 三 郎

道徳推進教師によるモデル授業である。

校内で「道徳の時間」の授業の充実を目指し、教師互いによる互見授業を実施し、各々の教師の授業力の向上を図ることを目的としたモデル授業である。まじめで一生懸命な授業者が、「お願いします。」と志願の授業公開である。

辺土名小学校で3年目、本年度より新たに3年目の教師の研修が設定されたが、T・S先生は、積極的に教室を開き授業公開に努め自己の研磨に心がけている。まだ「分からないことがたくさんあります。」「先輩たちに教えてもらいたいこともたくさんあります。」多くのことを自ら学びとろうとする授業者の姿勢に、参観させてもらえる私もうれしい。



【学習規律】 静然とした学びは、整然とした環境の中でしか成立しない。

授業開始前、中央の間に集まる前に、(写真①)、授業者は乱れた机の上の用具を整理して集まるように指示した。写真②、整理した後である。すっきりしました。ひとつの教室に「人」が共存する。いろんな家庭でいろんな教えを受けて、いろんな知性・感性いわゆる個性をもって共生しているのが学校であり教室である。多様な「人」の受け入れが共同社会である。しかし、すべての「人」が共存していくためには、そこには必然に「ルール」や規律が必要となってくる。それは一人ひとりの人権や個性を守るためにも絶対的に必要な「掟」と言ってもいい。結論、ルールや規律はその「人」を守るために必要不可欠である。子どもにとって一番の社会は「家庭」で2番目の社会が教室であると考え。その社会の中で他者と共に学び育ちゆくためにルールや規律の尊厳は守られなければならない。ルールや規律に守られながら共生社会の中で礼儀作法や、マナーを身に付けさせ、さらに気遣い、支え合う学級としたいものである。ついでに、「教室のルール」や「学習規律」は、自然発生的に集団の中に成立するものではない。子ども達を守るために教師が意図的に確立し、周知し、指導していかなければ定着はしない、学校の全教室で全教師が共通実践していかなければその実現は難しいものとなる。



【約束】 授業者は本時の資料の読みの前にお勉強の約束を確認する。



☆ 自分の心に正直になること。  
☆ 友達の意見に文句を言わないこと。  
他者の考え方を受け入れ、自分の考え方との違いに気づくことは、自分の考え方に広がりを持たせる意味でも大変重要である。  
「違う意見」＝ 学びの価値ある意見  
つまり、ちがいがから「学ぶ」である。



【資料を読む】 教師の範読を資料を目で追いながら聴く。・・・すばらしい全員が読み入る



道徳の資料の読みと、国語における読みの違いは何だろう。授業者は、子ども達を落ち着かせ、資料のページを開かせ、淡々と静かに読み始めた。子ども達は授業者の一句、一声もさず聞き入っている。すごい集中力である。CDを使う教師も時々見られが、やはり子ども達にとって担任の先生の声が一番である。

【お話の内容をおさえる（確認する）】



授業者は、子ども達を中央の間に集めてとりあえずお話の内容を確認した。写真③、子ども達の聴き入る眼が確かである。このきき合う眼や、集中力をどうすれば45分間維持させられるかが勝負となる、さらに、教師のどのような話し方の時、子ども達のこのような



写真③

眼を確認することができるのか。ぜひ校内研修等で取り上げて検討してほしいものである。本時の授業者は、終始「静かに淡々」と、子ども達が「聴く姿勢」、発言者に体を向けさせてから話を進めるように心がけていた。

【子どもの声で進める】

話の本題である。ガラスを割ってしまって「にげる」「あやまる」



教師：進一郎さんは逃げたけど「あやまり」にきましたね。ここでいい？  
授業者は、子ども達の声で進一郎さんの位置を決めた。さらに圭祐さんの位置も確かめた。ここからである。

教師：「あなただったら？ どうします。」  
しばらく、その場で互いに聴き合う子ども達。  
数名に話を聴いてみる。

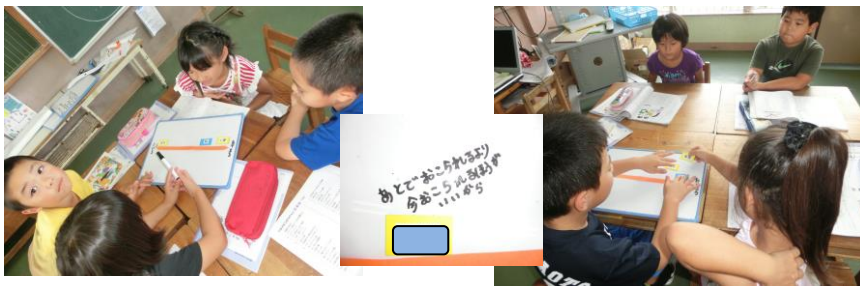
「ばれなければいい。」「ずっと逃げる。」言い張る子どももいる・・・



教師：それじゃ、グループで「自分だったらについて話し合ってください。」→グループへ

【考えの交流】グループ 「逃げるか?」「あやまりに行くか?」

謝らなければいけないことは分かっているでも「こわい」がある。子ども達は自分の体験や、親からの教を語り合う。「あとで、おこられるより、今おこられた方がいいから！」正直に素直な意見である。



【気になる距離感】

静かにおとなしくしっかり聴いてはいるが、男の子だけ後ろに・・・気にかけて！



あやまって→スッキリ? モヤッ? にげて→スッキリ? モヤッ?

写真④、自分の考えを黒板に示す。(1次判断)  
教師の主導で子ども達各々の考えや意見を交流させる。→「いちようあやまるけど」…モヤッ  
写真⑥、あやまった方がいい子ども達が、ほとんどの「あやまり方」を披露する。

写真⑦、2次判断、⑤の写真と見比べてほしいあやまることで「すっきり」に心が動いた。



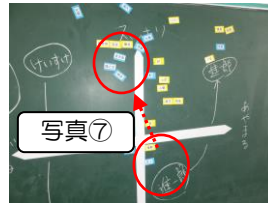
写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦

【正直・・・】

女の子：ほんとのこと言ったら、その人からお父さんに話が伝わって、また、お父さんに怒られるから「こわい」。



T・K先生ありがとうございました。「静かに淡々」と必ず達成できます。

道徳推進教師。大変ですね、校内で「道徳の授業の時間」を積極的に公開し、授業の質の高まりを「あなた」に委ねられているのですね…単純な話、そこまでやらないといけない教室の現状なのだろうか？ふと疑問に思いました。

「いろんな人が いろんなところで いろんな思いでがんばっている。」佐渡山豊さんの「生きているから」という歌詞の一部です。今年は3年研修がありますが、あなたはあなたのペースで頑張ってください。

国頭学びの会ゆい